

We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの人の参加をお願いします。

Let's Access!!

Shouting!

今月の高座

電子メールは便利でも、パソコンなどの端末を使用できる環境でないと使えません。たとえば、私は大学生なのですが、ノートパソコンを持っていないので、帰省時や旅行に行ったときなどはパソコンが使用できません。そんなとき、出先でもインターネットに接続できる公衆電話ならぬ「公衆端末」があればいいと思いませんか？ 機能は電子メールだけいいのです。具体的に提案すると、大手コンビニに本体・ディスプレイとキーボードを置いてもらい、インターネットに接続します。コンビニに設置する利点は、

- ・24時間営業であること
- ・全国的に普及しており、住宅のあるところならほとんどあること、
- ・POSシステムなどを使用しており、専用回線が既に敷いてある（そうだ）などです。料金支払いはテレカかコンビニのプリペイドカードを使用します。現在では電子メールを利用している人は少数派なのですが、これから電子メールが電話のように普及し始めたとなればどうでしょう。

(Tom)



編集部

手軽にメールを送れるスペースが町中にたくさんあると確かに便利。全国のコンビニに端末を置くというアイデアは大賛成です。さっそく大手コンビニ3社に電話で提案してみましたが、あまりにも唐突だったためか、「何とも言いようがありませんね」と冷たい返事。現状では最近増えてきたインターネットカフェを使うしかないようです。そこで、ちょっと変わったサービスを紹介しましょう。

熊本市のプロバイダーMAC（エムエーシー）では、100円玉を入れるとインターネットが使えるコイン式端末の無償リースサービスをしており、すでに熊本市内の喫茶店やガソリンスタンドなど約10台が稼働中。また、同社が運営するインターネットカフェ水前寺では、1500円分コインを入れるとホームページを登録できるいうサービスを実施中です。場所は熊本市水前寺2丁目4-24シルバークラウド101 2F
TEL.096-387-5735



Chatting!

声を聞かせて

会社のLANで、サーバーのシリアルポート共有ソフトを使用して、「先着1名」でモデムが使用できるようになりました。ネットサーフィンを楽しもうとする社員が休み時間になった途端にいっせいにネットケーブルを立ち上げるようになってしまいました。ほとんどチケット予約と同じような状態です。一瞬の戦いの末、勝者は嬉々として自分のお好みのホームページへ飛び、敗者は彼の後ろから一緒に覗き込んでいる状態が続いています。でも、たまに回線切断を忘れる人がいるので、電話代請求がこわい。ネットサーフィン禁止令が出ないことを祈るばかりです。

(高崎尚彦)



今年はじめに年賀状にメールアドレスを書いたら、20年前に高校を卒業して以来、年賀状以外に言葉をかわしたことがない友人から電子メールで返事がきました。お互

いの現況報告や卒業以来のことなど、年賀状では書ききれない話ができてとても感動しました。WWWもいけれど、メールの楽しさが少しわかったような気がしました。

(浜崎真吉)



年始めはインターネットで「アンケートやクイズに答えると××をプレゼント」というのがめっちゃめっちゃ多かったですね。僕はインプレスサーバーのWWWナビゲーターで、「プレゼント」や「アンケート」で検索し、ほとんどのアンケートやクイズに答えています。せこい手ですが、はがきで送ると違って簡単だし、お金も手間もかからないし、当たる確率も雑誌などについているものよりも高い(見てる人が少ないので)と思います。どうでしょうか?

(Junichiro Yamaguchi)

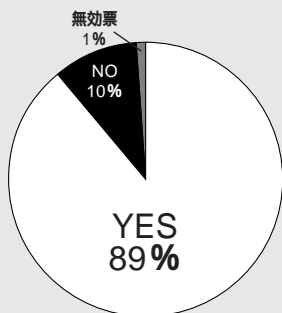


Thinking!

インターネットマガジン世論調査

テーマ
1996年インターネットブームは続くか? <結果報告>

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>



次のテーマ オウム真理教への破防法適用に賛成ですか?

インプレスWWWサーバーのインターネットマガジンのコーナーでは、さまざまな社会問題について、より多くの個人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、世論調査を実施しています。お答えいただいた方全員に20iP進呈します。あなたの意見を聞かせてください。

以下の世論調査結果を公開中
宗教法人法は改正すべきか?
NTTは分割すべきか?
夫婦別姓に賛成か?
原券は必要か?

プロバイダーの料金体系をもっと利用者の立場になっているような体系を採用してはどうでしょう。たとえば

- ・平日、土曜祝祭日を分けた設定。
- ・1日を数個の時間帯に分けた料金設定。
- ・アナログ、ISDNで分ける(これは一部で採用されている)。
- ・一定回数接続できない場合は割引(プロバイダーでカウントできない?)。
- ・アカウントごとに優先時間帯を設ける。
- ・プロバイダーの横のつながりで空いているプロバイダーの回線を一時借用できるようにする(付加料金はなるべく安くして)。

そのほか、なるべく接続できるように、プロバイダーから空いている時間帯を利用者へメールで通知するなど、ストレスのたまらない利用ができるように考えてほしいと思います。

(Yuuji Sasaki)



We Love Internet Peopleの
宛先電子メールアドレスは

ip-box@impress.co.jp

WWW情報、インターネットに関する意見、面白い企画、メーリングリストの会員募集、何でもいいので送ってください。
インターネットポイント(P284)発行中。

INTERVIEW

あの人に会いたい!

女の子が読むE-Zineを作ろうと思っている

AKO CHARM ROOMのオーナー 増田あきこさん



インターネットはどんなきっかけで始めたんですか。

AKO：去年の4月から半年間、デジタルハリウッド（CGなどを教えるコンピュータの学校）でマックのCGの勉強をしていました。そのとき、学校のイベントを生徒のなかから何人かが手伝うことになって、HTMLの講習を1日だけ受けたんです。その次の次の日にマックとモデムを買って、もう入るしかないと思ってリムネットに入って、それから1週間後には自分のホームページを作り始めました。

インターネットを始めて、ホームページを開いてどんなことが変わりましたか。

AKO：インターネットを始めて、電子メールで連絡の取れない今までの友だちとは疎遠になりがちですね。いけないことかなあと思っているんですけど、今までの友だちはどうしてもお互いに時間を空けたりしなないと会えないし、電話もまめにかけ合ったりしないといけないから、自分のペースを乱さないでつき合える人が中心になっちゃいます。だから、友だちはすごく変わり

ました。今は、大学院生の男の子とか、おたくばかり。濃いページを作っている男の子っているじゃないですか（笑）。女の子の友だちは、普通的女子大生とか、ここ（渋谷のエレクトロニックカフェ）のスタッフの子とか。

女の子の友だちには、NETS（ネット）とあって、去年のクリスマスにNHKのBS2の番組に出た人たちもいますよね。

AKO：青山のTOKYO KISS CLUBのメーリングリスト宛に、女の子でホームページを作っている子がいたら紹介してほしいというメールが来て、私ともう1人仲のいい子が出ることになったんです。あとはNHKのディレクターの方がタイガー・マウンテンやエレクトロニックカフェとかから集めてきて、スタジオで顔を合わせたら、みんな友だちの友だちだったみたいな感じで、女の子たちで何か面白いことやって行けたらいいねって話しているんです。NETSっていうのは、そのディレクターが付けたんです。すごいやな名前なんだけど、逆にそのダサさが気に入っているところもあり

日本ほど個人のホームページがたくさんあるところはないだろう。Yahooの担当者も日本からの個人ホームページの登録の多さに驚いているそうだ。とは言っても、日本国内では、個人がインターネットにアクセスするのはお金がかかるから、中心は大学生や大学院生だ。その中で、AKO CHARM ROOMのオーナー増田あきこさんはちょっと異色だ。モデルのバイトもときどきやっているそうで、いわゆる地味なパソコンおたくのイメージとは全然違う。渋谷なんかで見かけそうな、センスのいい女性だ。

増田あきこさん。1970年10月31日生まれ。血液型O型。横浜出身。コンピュータは編み物に似ていて地道なところが女性に向いていると思う。

ます。クリスマスのときは1回だけだったんですが、4月から番組を作るといってお話もあるんです。BSじゃなくて、教育テレビをやらせるとかみんなで言っているんですけど。

Q：インターネットはどんなところが面白いんですか。

AKO：私は個人のページがいちばん好きです。とくに女の子のページ。インターネットを始めた頃は、自分のページを作るのに時間が取られてましたけど、最近はネットサーフィンにもはまっています。雑誌では書けないような批評をばんばん書いてたりして、それがすごい面白いです。雑誌だとただの紹介になりがちじゃないですか。個人のページだと、ちゃんと悪いところは批判しているんです。あとは、他人の日記を読んだりするのも楽しいですね。

Q：パソコン通信の経験はあるんですか。

AKO：インターネットを始める前に1か月くらい大手パソコンネットをシケてんなど思いながら見てました。音楽系の会議室

とかのぞいていたんですけど、おたくの人の友達作りの場みたいな感じで、パソコン通信にははまりませんでした。

Q：インターネットにはどのくらい時間をさいていますか。

AKO：今は夜中の1時くらいに始めて朝6時くらいまでやっています。2時間くらいつなげて、メールを書いたりしてまた2時間くらい。メールは多いときはメーリングリスト以外で1日30通くらい来ます。通信費は月に3万円くらいかかってますね。

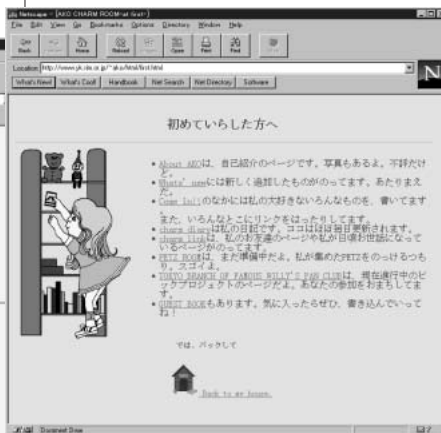
Q：海外のサイトもよく見ますか？面白いサイトはどうやって探すんですか。

AKO：かわいい女の子のページって圧倒的に海外のほうが多いです。探し方は、すごい間抜けなんだけど、YahooとかInk-tomiとかのサーチエンジンで、cuteとかcoolとかgirlyで検索して1個1個見ていきます。今私のホームページからリンクを張

っているの3倍くらいは見つけていますから、そのうちリンクをもっと増やそうと思っています。

Q：英語は得意なんですか。

AKO：全然できないですよ。英語のメールだと書くのに2時間くらいかかっちゃって、周りの人に聞いたりして。でも、言葉の壁はあんまり感じないんです。すごい恥ずかしい単語のまぢがいもしょっちゅうしてますけど、みんなあんまり気にすることないって言いますから。英語のホ



AKO CHARM ROOM

URL <http://www.yk.rim.or.jp/ako/>

ームページを作れてメールが海外から来るんですが、微妙な言葉のニュアンスがわからないからできないですね。

Q：いま、AKO CHARM ROOMでは、TOKYO BRANCH OF FAMOUS WILLY'S FAN CLUBというプロジェクトが進行中ですよ。これはどういうものですか。

AKO：アメリカにFoxy!という女の子3人でやっているすごい有名なページがあるんです。かわいいページなんですけど、そこに単に有名になりたいだけのWILLY（モヒカンですごい笑える男の子。ミシガンに住んでいる）という男の子がいて、私の仲のいい女の子がWILLYに「あたしが有名にしてあげる」とメールを書いたら、2時間後くらいに、「じゃあ君を東京の僕のファンクラブの会長に任命するよ」というメールが来て、その2時間後に、その女の子から私のところに「どうしよう」とメールが来て、じゃあ本格的にやろうか言って、それが今やっているプロジェクトです。いま会員が男女半々で20人くらいいます。誰でも入れますよ。東京ランチとか言ってもファンクラブがあるのは日本だけです。WILLYって男の子とその妹はすごく喜んで、会員全員のところにyour my friendとかってメールが来ました。海外と新しいコミュニケーションが生まれ

てすごい面白いなと思っているんです。

Q：ほかに、インターネットでこれからやろうと考えていることはありますか。

AKO：自分と感覚の似た女の子たちとE-Zine、雑誌っぽいものを作りたいですね。これは英語版もやろうと思ってます。音楽の趣味とか洋服の趣味とか遊び方とか、私みたいな女の子は渋谷に行くといっぱいいるんですけど、インターネットの中では極端に少ないんです。そういう子たちがインターネットになだれ込んでくるようなものを作りたい。インターネットをおじさんとかおたくだけのものじゃないようにしたいですね。私にとってインターネットって（雑誌の）オリーブとか読むのとあまり大差ないんです。もっと女の子とか、友だちとか増えて、面白いこといろいろやっていきたいんで、その手始めにE-Zineを出したい。海外だと『ELLE』もページをやっていますし、お化粧品とか洋服とかのページがいろいろある。アメリカはオモチャ屋さんとかデパートのページとかきれいなページが多いのに、日本の企業のは全然面白くないでしょう。誰かに先を越されるのはいやなので、2月くらいにはE-Zineを始めたいと思っています。

（取材・文/鈴木康之）

協力：エレクトロニックカフェトウキョウ ☎03-5489-5551



Net Surfing!

読者が作るイエローページ

最近は何を買える通信販売サイトの投稿が急増中。
実体験にもとづいたインターネット通販情報を待つ。

個人輸入相談室

URL <http://www.kbcinc.com/>

このサイトは、アメリカ国内の商品ならどんなものでも36時間以内に探し出してくれます。また、こちらのサイトからすぐに注文もできますし、わざわざカタログを頼む必要もないわけです。それに通販カタログに載っていない物でもアメリカの物なら何でも探し出してくれます。アンティーク、オーディオ、洋服、自動車、化粧品、香水、健康食品などなど、個人輸入が好きな方ならぜひ一度覗いてみてください。また、会員になれば定期的に会員新着情報を送ってもらえます。もちろん会費はゼロ。日本語でサービスを提供していますので安心です。



(幸島 茂)

オークションページ登場

URL <http://www.egg.or.jp/auction/title.htm>

日本で初めてのインターネット上でのオークションページです。最近「ハンマープライス」(CX系番組)などではやっているオークション。ついに登場って感じです。F1のチェッカーフラッグやアンティークマップ(古地図)など15商品あまり載っています。世界のオークションのページを見ていると、このページほどきれいで、商品の写真が載っているのは見あたりません。一度のぞいて入札してみてもいいですね。



(kazu)

道のガイド

URL <http://www.bekkoame.or.jp/ma2/walking/>

飛行機も新幹線も目的地までの所要時間を競う時代ですが、発想を変えて歩いてみるのはどうでしょうか? お遍路さんになるための道具の紹介もあります。でも、あまり歩かなくなった現代人にはキツイかも。



ネットニュースの検索ウェブ

URL <http://www.dejanews.com/>

ものすごく使えるURLを発見しました。星の数ほどあるNetNewsの記事をキーワードで検索できます。そのうえレスポンスも速い。もう、これは情報過多時代に必須となるでしょう。すかさずブックマークに登録しておきましょう。検索した結果はそのままブラウザから購読でき、そのうえリプライまで書けてしまいます。もうニュースリーダーもいらなくなってしまいますね。ホームページ(上)よりは、<http://www.dejanews.com/forms/dnq.html> を登録しておくのが賢いです。



(Makoto Morikawa)

カードが作れるページ

URL <http://buildacard.com/>

自分のカードを対話的に作成できるページです。バックグラウンド、イラストを選択し、いろいろなフォントで自由に文字が書けます。私も試しに2枚ほど書いてみました。私のページのURLは以下のとおりです。(匿名希望)

URL <http://holodeck.buildacard.com/cards/1378CECF.htm>

URL <http://holodeck.buildacard.com/cards/138E6382.htm>



A Weekend a Firenze

URL <http://www.waf.it/mall/>

Weekend a Firenzeはフローレンスのイタリアの特別な高品質な手作り作品のカタログです。価格は常に更新されています。世界中どこでも48時間以内に発送します。なかなかいろいろな種類の魅力的な品物がそろっています。そしてそのどれもが日本ではなかなか入手できないものばかりです。DHLですばやく送られてくるのですぐに手に入ります。(村瀬尚之)



オークションページ

The Geek Zone

URL <http://krypton.mankato.msus.edu/hayden/geek.html>

これぞ正にオタクのオタクによるオタクのためのサーバー。このGeek Code Generatorで作成されたGeek Codeを使うことによって、世界中の人に自らのオタク度を公開することができるという人類史上始めて以来の画期的な試み。ちなみに、私のGeek Codeはこれです。

(城垣内 剛)

-----BEGIN GEEK CODE BLOCK-----

Version: 3.1

GCM/CC/E/FA ds: a-C++\$ US+++\$ P+L E+W++ N+o? K? lw !O M+

!V- PS? PE Y+\$ PGP- t+5? X++++ !R tv+ b+ DI? D Ge++ h r-y+

-----END GEEK CODE BLOCK-----



メーリングリストの掲示板

URL <http://www.ijjnet.or.jp/IJJ-MC/odajima/ml/happening/>

メーリングリストでの重要な出来事を知らせるためのWWWページを作りました。たとえば、いろいろなメーリングリストにばらまかれたチェーンメールの現在の状況はどうなのか。また、このメーリングでループがおきていたが回復したなどの情報を載せています。メーリングリストでトラブルが起きたときなどに有効だと思えます。どんなメーリングリストでも伝えたい重要なことがあれば何でもかまいませんのでご連絡下さい。

(小田嶋勝也)



impress.co.jp

TOP 10

発表!

インプレスWWWナビゲーターの登録サイト数所在地別ランキング

<http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/wwwnavi/>
2月8日現在、7403件のURLを登録しているWWWナビゲーター。不明な1168件をのぞき、所在地別に登録数を集計した。

1位 東京都

2926件。人口は約1153万人。WWWサーバーも東京一極集中の状態だ。企業ページも多い。

2位 大阪府

490件。人口約854万人。昨年のAPEC開催を機にインターネットへの取り組みが進んだ。

3位 神奈川県

424件。人口約810万人。松下政経塾のページは神奈川県茅ヶ崎市にある。

4位 愛知県

252件。人口約671万人。名古屋市はアクセスポイントが豊富でプロバイダー競争も激しい。

5位 京都府

204件。人口約254万人。京都市は市民へのインターネット接続サービスを提供している。

6位 福岡県

150件。人口約480万人。最近福岡市内にインターネットマンションができて話題になった。

7位 兵庫県

121件。人口約545万人。神戸市は自治体のインターネットの活用を模索している。

8位 埼玉県

118件。人口約661万人。熊谷、川越など地域限定型のプロバイダーサービスが多い。

9位 千葉県

116件。人口約572万人。95年4月から千葉大学で千葉市役所のページが開設されている。

10位 北海道

87件。人口約566万人。季節柄、雪祭りのための臨時ページ開設が目立った。

.....
ちなみに11位はニューヨーク州で76件、14位にはカリフォルニア州が64件でランクインしていた。

求む! 皿回しの達人

インプレス・樋渡貴春と決闘だ

URL <http://www.bekkoame.or.jp/uenknown/mmd/sw/sara.htm>

今の特集(145頁)でも紹介しているが、ショックウェブを使った皿回しに編集部はハマっている。皿が落ちないようにマウスを高速クリックして回し続けなければならない「臆鞘炎覚悟」のゲームである。しかし、ハマってから1か月たった1月末になっても、編集部では誰1人7枚すべてを回すことはできなかった。マック版や遅いマシンならそれほど難しくはないが、ペンティアム100メガだと皿が落ちるのが早いのだ。そんな編集部員を嘲笑うかのように、7枚クリアしてしまった男がいる。広告営業担当の樋渡貴春(ヒワタシキハル)である。もし、読者諸氏で樋渡に挑戦したい、私は7枚回したぜ、という人がいたら、ぜひ編集部にきて実際にやって見せてほしい。まずはip-box@impress.co.jpにメールをください。

<注意>

- ・交通費は支給しません。
- ・マシンはペンティアム100メガでやっていただきます。
- ・編集部の前でどうしても7枚クリアできないときは、罰ゲームが待っています。
- ・7枚回しを見せてくれたあなたには、IPを5000ポイント発行します。



皿回しの達人hiwatasi
「広告も受け付けています」

電子メールで応募する写真コンテスト Internet Photo Competition1996開催

インターネットを通じて公募を行い、インターネット、一般ギャラリー、雑誌のCD-ROMなどで作品を公開する写真コンテスト「Internet Photo Competition1996」(IPC1996)が開催される。主催はインターネット上の写真雑誌である「Internet Photo Magazine Japan」。協賛は富士フィルム、三浦印刷、ネットランチ、ActPlanNet、そして本誌インターネットマガジンだ。3月31日まで「traffic」をテーマに作品を募集している。

応募方法は電子メールのみ。単写真、または4枚以下の組み写真で、1点あたり100Kバ

URL <http://www.st.rim.or.jp/akirak/>

受付アドレス akirak@st.rim.or.jp または、ipc@fujifilm.co.jp

イト以下のデジタルデータに圧縮して下のメールアドレスへ送る。作品は写真を素材にしていれば、デジタル加工されていてもOKだ。ノミネート作品は4月15日からインターネット上に掲示され、読者投票が行われた後、写真家の藤井秀樹氏、樋口健二氏、鶴田義久氏の審査でグランプリを決定する。グランプリ作品は、東京都中央区銀座の富士フォトサロン東京<スペース3>に展示されるほか、インターネットマガジンのCD-ROMにも収録する予定だ。賞金などの詳細および応募用紙は下のサイトに登録されている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp